

平成18年12月5日

第5学年 社会科学習指導案

1 小単元名「わたしたちのくらしと放送」

2 小単元の目標

- 放送局のニュース番組の番組制作について関心をもち、自分たちの生活との関わり、働く人の工夫や努力を意欲的に調べ、自分の考えをすすんで表現物に作成することができる。
- ニュース番組と自分たちの生活の関わりや番組で働く人々の工夫や努力から、ニュース番組が生活に大きな影響をあたえる情報を提供していることについて、表現物の作成を通して考えることができる。
- ニュース番組の情報と自分たちの生活とのかかわりや放送局で働く人々のくふうや努力について見通しをもって追究し、調べたことを整理し、自分の考えの根拠を工夫して表現することができる。
- 表現された自分の考えを振り返ることを通して、放送局で働いている人々が、視聴者に必要な情報を分かりやすく正確にはやく伝えるために様々な工夫や努力をしていることを理解することができる。

3 指導にあたって

○ こんな子どもだから（児童観）

本学級の子どもたちは、これまでに我が国の国土の様子学習を通して、人々が自然環境をうまく利用したり克服したりして生活していることや生産活動をしていることを学習してきた。また、食料や工業生産の学習を通して、それぞれの産業に従事する人たちは、消費者のニーズや安全性を考えながら工夫や努力を重ねていることに気付いてきている。

子どもたちは、これまでの学習を通して、自分の考えを作るために、観察・見学などの体験活動やインターネットを使って調べることができるようになってきている。しかし、内容を十分に検討しないまま資料をそのまま写すことや、自分の考えを支える為の根拠として必要な事実が足りないことに気がつかないことも少なくない。

そこで、自分の考えの根拠としてどんなものがあればいいのか、選んだ資料が根拠として必要なものであることの検討ができるようにしたいと考えている。そして、ほかの児童が調べた事実や考えと比較したり、関連付けたりして考える力を育成していきたい。

○ このような教材で（教材観）

本小単元は、放送局に働く人々が様々な工夫や努力をしながら、視聴者のニーズに合わせて、さまざまな情報を収集し提供していることや、放送が生活に大きな影響をあたえていることを考えることができるようにすることをねらいとしている。

高度情報社会の中、児童の周りには様々な情報があふれ、情報を得るための手段も様々である。特に、児童にとって、身近であるテレビ放送においては、地上波放送をはじめ、衛星放送・有線放送などの普及により、視聴可能チャンネル数が伸びている。また、インターネットや携帯電話、デジタル放送の普及によって、視聴者の意見が今まで以上に反映されるようになってきている。

放送局では、ニュース番組製作に於いて、視聴者の必要とする情報を早く正確に分かりやすく伝えるために、事件・事故の現場で取材を行い、送られてきた映像や記事の内容を検討して、放送するかしないかを判断したり、順番を入れ替えたりするなどして編集をしたりしている。また、放送には、アナウンサーやカメラマンだけでなく、ディレクターをはじめ多くの人がいろいろな分野で関わっている。

本単元は、放送局の人々がはやく正確に放送するためにいろいろな工夫や努力していることを調べ、他の児童と交流することによって、自分が調べた事実を吟味したり、他の事実と関連づけたりして、自分の考えを確かにしていくことができる価値のある教材であると考えている。

○ このような指導を（方法観）

本単元の指導にあたっては、情報ははやく正確に分かりやすく伝えるためにそれぞれの専門を生かして、記事や映像を作成し、さらに内容を検討し、リハーサルを行うなどの努力や工夫をしていることを理解させるために、事象を比較・関連付けて、事象の意味を考えたり・適切に判断したり

することができるように、学習過程の中に次のような活動を位置付けて学習を進めていく。

【つかむ段階】

- 情報と国民生活とのかかわりに気付くことができるように情報をどのように手に入れ、活用しているかを出し合う。
- 放送局で働く人々の工夫と努力に興味をもつことができるように、番組表・スタジオの様子を見せ、ニュース番組が多いことやいろいろな人がニュース作りに関わっていることに気付かせる。
このことから、学習問題に対する予想として、現場から中継しているからはやいとかいろいろな人が分かれて働いているから正確で分かりやすい等、根拠をもとに予想をたてさせたい。

【さぐる段階】

- 学習問題に対する自分の考えに沿って追究活動ができるように、調べてきた事実がなぜ、自分の予想につながるのかについて、検討させる。また、関連しているものはないか考えさせることで、分類・整理させていき、自分の考えをつくらせたい。

【まとめる段階】

- 同じ予想グループで、自分たちの考えをより正確に分かりやすく伝えるために、どのような作成物がいいのかについて、事実カードの吟味をさせたい。似たような事実カードは、より分かりやすいものはどれか、カードを操作しながら比較・検討させたい。また、ほかの事実に関係する物はないかについても検討させたい。
- 全体での交流では、グループごとに作成した表現物を使って、予想につながっているかを検討し、納得できた物を取り入れることで、最終的な自分の考えを作り直せたい。

【小単元の構想図】

中核的事項（子どもたちにとらえさせたい内容）

放送など情報を伝える産業は、国民生活に大きな影響を及ぼしている。また、その情報を効果的に活用することが大切である。

関連的事項（中核事項を支える教材の柱）

通信業では、国民のニーズを考え、さまざまな情報を収集し、多様な手段によって、国民にいろいろな情報を提供している。

情報産業に従事している人々は、正確な情報はやく、分かりやすく伝えるために、工夫や努力を重ねている。

基礎的事項（具体的な内容）

- 通信業の現状
 - ・高度通信情報社会
 - ・携帯電話・インターネットの急激な普及
 - ・情報の伝わるしくみ
- 国民の立場に立った伝え方
 - ・誰でも手軽に得られる情報
 - ・通信業の種類
(放送・新聞・電信電話)
 - ・さまざまな通信業の特色
- 情報の入手方法
 - ・テレビ、新聞、ラジオ、インターネットなど

- はやさ
仕事の分担
取材・編集・放送を支える人
(放送記者・ニュースキャスター
編集長・デスク・技術スタッフ)
機材
中継車・通信衛星・放送衛星
放送機材
- 正確さ
現場での取材・原稿の見直し
編集会議・フリップなど解説資料
各専門(政治・経済・社会・外信デスク)

<p>／ さ ぐ る</p>	<p>4</p>	<p>3 自分の課題に沿って調べ、自分の考えを作る。 (1) 自分の予想にそって調べる。 ○ 調べたことをもとに、事実カードをつくる。 (2) 調べたことをもとに、事実カードを使って表現物を作って、自分の考えをつくる。 ○ 事実カードが予想につながるわけの検討 ○ 関連付けられるカードの分類</p>	<p>○ 子どもの見つけた事実をモデルとして提示し、事実がどのように学習問題につながるか検討し、事実カードを作る。</p> <table border="0"> <tr> <td data-bbox="869 347 1077 380">正確に伝える</td> <td data-bbox="1157 347 1332 380">はやく伝える</td> </tr> <tr> <td data-bbox="869 392 1077 425">情報のチェック</td> <td data-bbox="1189 392 1412 425">はやく取材をする</td> </tr> <tr> <td data-bbox="869 436 1029 459">原稿のチェック</td> <td data-bbox="1189 436 1380 504">国内の放送局と 海外支局の地図</td> </tr> <tr> <td data-bbox="869 470 997 492">キャスター</td> <td data-bbox="1189 526 1380 571">ヘリコプター</td> </tr> <tr> <td data-bbox="869 504 933 537">練習</td> <td></td> </tr> </table>	正確に伝える	はやく伝える	情報のチェック	はやく取材をする	原稿のチェック	国内の放送局と 海外支局の地図	キャスター	ヘリコプター	練習	
正確に伝える	はやく伝える												
情報のチェック	はやく取材をする												
原稿のチェック	国内の放送局と 海外支局の地図												
キャスター	ヘリコプター												
練習													
<p>／ ま と め る</p>	<p>3</p>	<p>4 中間交流をし、考えを作り直す。 (1) グループ別に中間交流会をする。 ○一つの事実カードを ・ 自分の予想にどのようにつなげているか ・ 事実のカードの資料はいいか ○複数の事実カード ・ 分類したカード群のタイトル</p> <p>(2) 話し合いをもとに、表現物をつくる。</p>	<p>分かりやすい</p> <table border="0"> <tr> <td data-bbox="885 705 1077 750">字幕</td> <td data-bbox="1141 660 1380 694">はやく記事を送る</td> </tr> <tr> <td data-bbox="885 761 1061 795">インタビュー</td> <td data-bbox="1157 705 1396 795">携帯やコンピュータ で送る</td> </tr> <tr> <td data-bbox="885 806 1061 851">映像</td> <td data-bbox="1189 817 1332 851">はやく放送</td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="1157 884 1292 929">臨時ニュース</td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="1157 929 1268 963">字幕で流す</td> </tr> </table>	字幕	はやく記事を送る	インタビュー	携帯やコンピュータ で送る	映像	はやく放送		臨時ニュース		字幕で流す
字幕	はやく記事を送る												
インタビュー	携帯やコンピュータ で送る												
映像	はやく放送												
	臨時ニュース												
	字幕で流す												
	<p>2</p>	<p>5 全体交流会をし、考えをまとめる。 (1) 全体交流をする。 (2) 話し合いをもとに、表現物を作り直す。</p>	<p>○ 話し合いたい事実のカードを持つ児童をモデルとして全体場で提示し、正確に伝える事実をどのようにとらえているか、つないでいるかについて検討する。</p> <p>○ 表現物は、資料を別に大きく提示し、キーワードで表す。</p> <p>○ 各グループの代表児童から説明をさせる。</p> <p>○ B2での自分の考えに不足している事実を追加したり、持っているカードを見直したりして最終的な自分の考えをつくる。</p>										

5 本時 10・11/11 平成18年12月5日(火) 5・6校時 於 ロングルーム

6 本時目標

- 各グループの表現物をもとに、カードの検討をすることを通して、相手グループの考えを理解し、自分の表現物と関連させることで、自分の考えを広げることができる。

7 本時指導の考え方

本時は、中間交流後に作成したグループの表現物をもとに、視点ごとに全体で検討する話し合い活動と表現物の再構成の場面である。相手の意見を聞いて、自分たちの考えを修正したり、相手の考えを聞いて納得した事実を取り入れたりして、考えを広げさせたい。

そこで、次のような授業仮説を設定し、学習を進めていきたい。

〈まとめる段階〉自分の考えをより確かにするための表現活動と表現物作り

自分の考えをより確かなものにさせるために、自分とは違う視点で調べてきた児童の考えにふれさせ、表現物と事実を比べさせる話し合いを行えば、納得した相手の意見を取り入れて、自分の考えを付加・修正することができるであろう。

《本時検証のポイント》

- ① 各視点グループが作った表現物をもとにした全体交流が考えをより確かなものになるために有効であったか

視点グループごとに話し合いをして、自分たちの考えが分かるように作成した表現物が、写真・ビデオなどの補助資料を使って説明することで分かりやすい提案となったか。補助資料は、適切であったか。また、使い方はよかったか。次に、カードとタイトルのつながりを検討させたあと、納得できた事実を自分の表現物に取り入れさせ、自分の考えを作成させることで、他のグループの考えを理解して自分の考えを広げることにつながったかについて検証する。

- ② はやいグループにも、正確のグループにもとらえられている事実に着目し、どちらの事実になるのかについて話し合わせ、相手の見方を理解させることが、同じ事実でも異なる見方ができることに気づき、事実認識を深めることにつながったか。

両方に出てくる事実のカードをそれぞれの表現物から取り上げ、その事実のカードがどちらの事実となるのかそれぞれの立場から意見を出させることで、はやさの事実にもなり得るし、また、違う観点から見ると正確さの事実にもなり得ることから、はやさと正確さを備えたものとして、はやさと正確さのカードとして、新たに位置づけを行う。この具体的操作によって、1つの事実を1つの見方しかできていなかったものが、別の見方ができることを理解し、同じ事実でもいろいろな見方ができることを理解することにつながったかを検証する。

まず、各グループの表現物を提示する。そして、グループごとに説明し、全体で検討していく。具体的には、事前に各グループ、自分たちの考えがより分かりやすくするために、どのような補助資料をどのように使えばいいのかについて、話し合いをさせておく。

そして本時では、はやさのグループが取材・編集・放送の順にタイトル(学習問題についての予想)とカードのつながりについて説明をし、グループの考えを発表する。取材では、取材に駆けつけるための国内の放送局と海外の支局の数、ヘリコプター、情報をはやく送るための携帯電話などの通信機器、編集では、原稿・映像などの仕事の分担、放送では、現場からの生放送のための移動中継車、地震等の災害などの臨時ニュース・字幕でニュースなどを出す。この時、カードの言葉について理解ができるように補助資料として、写真などを使って説明する。その後、カードとカードのつながりやどうしてはやくにつながるのかについて説明を行う。そして、正確さのグループから質問を出させ、考えについての理解を深めさせる。正確さのカードではないかとの意見が出た場合は、正確さの説明が

終わった後に検討することにする。

同じように、正確さのグループのものも検討していく。取材では、現地で「関係のある人にインタビュー」、「いろんな角度から取る」、編集では、「情報のチェック」、「字幕や図表の作成」、「役割の分担」、放送では、「リハーサル」、「現場から中継」、「ヘリコプター」などをあげさせる。こちらも、補助資料を用いながら説明をし、質問に答え、相手に理解をさせていく。

そして、事実としてあげられないものはないか意見を出させ、検討する。次に、タイトルとカードはつなぐことができるのかを検討していく。この時、正確さのグループに「ヘリコプター」のカードがあるので、空から正確に写すことができるから「ヘリコプター」を出させたい。このカードを両方の表現物から移動させ、どちらのものであるかをそれぞれが自分の根拠をしてあげている理由を相手に伝え納得させる。両方に関わるカードなので、「はやさと正確さ」の場所をつくり、そこに、「ヘリコプター」を移動させる。また、ヘリコプターから生中継をしていることから、はやく放送することについての根拠になることに気付かせたい。

この後、同じように両方に関わるものはないか考えさせる。「仕事の分担」と「役割の分担」は、仕事を分けてそれぞれが専門を生かしているので、正確にできるが、仕事を分担することではやくできることを出させ、はやく正確にできるので、両方に関わることに気付かせたい。言葉は違っても内容は同じと取らせているようなので、役割の分担にまとめ、両方の場所に位置付ける。役割（仕事）の分担については、編集のほかにはないか問いかけ、取材や放送においても記者・カメラマン・音声など仕事を分担していることに気付かせると共に、取材・編集・放送についても分担になっていることに気付かせたい。それぞれの仕事に分かれて受け持つことで、はやくできるし、分担して、専門の人がすることで、正確にしかもはやくできることについても理解させたい。また、「放送局や支局が多いことは、現場にはやく行ける。」というカードについても、「現場に行って取材をすることだね。」と投げかけることで、正確に取材ができることにつながることに気付かせ、両方に関わるものであることを理解させたい。

このようにして、カードを操作することで「はやさ」「はやさと正確さの両方」「正確さ」のカードに分けられることを視覚的にもとらえさせたい。

最後に、納得できたカードについては、自分の表現物に取り入れていく。作成し直した表現物とともに、自分の考えがどのように変化したかが分かるように学習問題の答えを書く。納得できた事実カードを付け加えて完成した表現物が自分の考えの広がりを表すことを知らせ、視覚的に自分の考えの広がりを確かめられるようにしたい。

8 本時展開

学 習 活 動	表現物の活用	支 援
<p>1 めあての確認と学習の流れを確認する。</p> <p>学習問題</p>		<p>○学習の流れを掲示し、学習の流れを読ませ、流れをつかませる。</p>
<p>放送局で働く人々は、情報を伝えるためにどのような工夫をしているのだろう。</p>		
<p>めあて</p>		
<p>ほかのグループの考えを聞き、納得できた事実を取り入れ自分の考えを作り直そう。</p>		
<p>2 それぞれの視点グループで作った表現物をもとに話し合う。</p> <p>(1)はやさグループのタイトルとカードのつながりについて説明する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現場から情報を送る。 ・緊急の場合、臨時ニュースを放送する。 他 		<p>○グループの代表がカードの言葉および、補助資料をもとに説明を行わせ、聞いている人が分かるようにさせる。</p>
<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="width: 30%;"> <p>取材</p> <p>はやくかけつける</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">ヘリコプター</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">屋上に発着場</div> <p>いつでも行ける</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">いつも点検</div> <p>手に入れる</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">記者クラブ</div> <p>外国からも手に入れる</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">国内放送局54・海外支局27</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">特派員</div> </div> <div style="width: 30%; text-align: center;"> <p>はやく伝える</p> <p>編集</p> <p>仕事の分担</p> </div> <div style="width: 30%;"> <p>放送</p> <p>番組中に流す</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">臨時ニュース</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">番組中に字幕でニュース</div> <p>現場から放送</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">中継車で生放送</div> </div> <div style="width: 30%; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-left: 10px;"> <p>はやく伝えるために、取材では、現場に行つてすぐに原稿を送り、編集では、映像・音声など仕事を分担して、放送では番組を途中で中断してはやく重要な情報を伝えている。</p> </div> </div>		
<p>(2)はやさグループへの質問を行う。</p> <p>(3)正確グループのタイトルとカードのつながりについて説明する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係のある人にインタビューする。 ・情報のチェックを行う。 ・リハーサルを行う。 他 		<p>○グループの代表がカードの言葉および、補助資料をもとに説明を行わせ、聞いている人が分かるようにさせる。</p>

<p>正確に伝える</p> <p>取材 現場で取材</p> <p>角度を変えて撮影</p> <p>関係のある人にインタビュー</p>	<p>編集 間違った情報を流さない</p> <p>情報を確かめる 原稿のチェック</p> <p>分かりやすい 字幕・図表を作る</p> <p>専門だから正確 仕事の分担</p>	<p>放送 間違えないように</p> <p>原稿を何度も読む プロンタ</p> <p>順序よく分かりやすい リハーサル 現場から放送</p> <p>現場から生放送 ヘリコプター</p>	<p>放送局の人々は、関係のある人にインタビューしたり、それぞれ専門の仕事に分かれて、字幕や図表を作ったり、リハーサルをしたり、現場から放送をして正確に伝えている。</p>
<p>(4) 正確グループへの質問を行う。 (5) カードの検討を行う。</p> <p>3 相手グループとの関連のあるカードについて考える。</p> <p>○ 同じ名前のカードについて話し合う。</p> <p>○ お互いのグループのカードとタイトルで関連づけられるものはないかがす。</p>	<p>ヘリコプターについては、正確さにも同じカードがあるので、正確のグループから「空から写すとよく分かる」と意見を出させる。ヘリコプターのカードを持ち、どちらに入れるといいのか問いかけ、それぞれのグループから意見を言わせ、相手も納得できるようにさせる。</p> <p>そのとき、現場から中継していることにも触れさせ、はやさの放送にも入ることに気付かせる。</p> <p>仕事の分担・役割の分担に付いても、仕事の役割を分担しているのとらえているのでそれぞれのグループから意見を出させる。役割の分担としたい。</p> <p>現場から生放送と中継車から生放送については、タイトルが同じなので、いっしょにすることができないか、検討させる。</p> <p>国内放送局・海外支局については、現場にはやく取材行くから、現場に取材に行くことでつながりがないか考えさせる。</p>	<p>○ カードの事実とわけとタイトルがつながるかを検討させる。</p> <p>事実がなぜにつながるのかについて考えさせ、タイトルとつながらないときは、タイトルを変更するのがいいのか事実カードがふさわしく無いのか検討させる。</p>	
<p>はやさ</p> <p>最初の表現物から正確さにも関わるものをのぞいた表現物</p>	<p>はやさと正確さ</p> <p>ヘリコプター 国内放送局54・海外支局27 仕事の分担 現場から生放送</p>	<p>正確さ</p> <p>最初の表現物からはやさにも関わるカードをのぞいた表現物</p>	

<p>4 自分の表現物を作り直し, 学習問題の答えをまとめる。 ○相手グループのカードで納得したものは, カードとタイトルを追加して再構成し, 自分の考えを書く。</p>	<p>○ 自分の表現物と比べて, 納得できたカードは, 付箋紙に書き込ませ付け加えさせる。 ○ 作り直した表現物を見て, 自分の考えを作り直す。</p>	<p>○ 自分の考えを書くときには, 納得できたカードの内容を入れて元々あるものと組み合わせ、自分の考えが変わったことが分かるように書かせる。</p>
<p>放送局の人々は, 情報をはやく正確に伝えられるように, 現場にかけつけて取材してすぐに原稿を送ったり, 原稿や映像を何度もチェックしたり, 図や字幕を使って分かりやすく放送している。災害などのニュースは, 臨時ニュースを流すなどすばやく放送している。また, キャスターやカメラマンなどたくさんの人が役割を分担してそれぞれ専門で仕事をしているので, はやく正確に分かりやすく情報を伝えることができる。</p>		

はやく正確に伝える

はやく編集

放送局で働く人々は、情報を伝えるためにどのような工夫をしているのだろうか。

学習問題

正確に伝えるため

はやく伝えるため

すぐに送れる

ヘリコプター

はやくかけつける

携帯電話・コンピューターなどで送る

仕事の分担

字幕で流す

臨時ニュース

国内放送局54カ所

海外支局27カ所

はやく放

正確に調べる

現地で取材

正確に編集

情報のチェック

字幕・図表の作成

正確に放送

リハーサル

現場中継